

YIC 利用案内

行政相談 (毎月第3日曜日)

13:00-16:00(要予約)



ビザ(在留資格)の申請・変更、在留期間の更新、永住申請、国際結婚、国際離婚、日本国籍取得、帰化申請など行政手続きに関する相談。

2019年度 相談日 (行政相談)

2019年 5月19日(日) 6月16日(日) 7月21日(日)
8月18日(日) 9月15日(日) 10月20日(日)
11月17日(日) 12月15日(日)
2020年 1月19日(日) 2月16日(日) 3月15日(日)

賛助会員

YICの活動にご賛同いただける賛助会員を募集しております。是非ご入会頂き、多くのご支援ご協力を賜りますよう、宜しくお願い致します。

- ◆年度会員制 ◆賛助会員特典あり
- ◆会費：個人一口 3,000円 団体一口 10,000円

生活相談

開館時はいつでも受付



生活で困っていること、日本文化で分からないこと、どこに相談すればいい分からないこと...etc.YICスタッフがうかがいます。

翻訳

YICに登録するボランティアおよび職員が、日本語から外国語、または、外国語から日本語への翻訳をお手伝いします。

◆翻訳料:1枚(800字程度)につき 2,000円

☆翻訳ボランティアは随時募集中です。どの言語でも登録できます。

日本語サークル利用者数(平成30年3月~平成31年2月)

四日市市外国人人口数(平成31年2月28日現在)

活動実数	ボランティア先生184名	学習者 417名
授業延べ回数	4906回	
学習者地域別	アジア92%、南米3.7%、北米2.6%、EU0.7%	
学習者在留資格別	就労関係68%、家族滞在15%、永・定住8.8% 配偶者5.5%、留学0.7%、その他2%	
学習者年齢別	10代5.9%、20代65%、30代21.7%、40代4.8%、 50代1.5% 60代1.1%	

国籍	人数	割合	国籍	人数	割合
ブラジル	2,259	23.4%	その他	2,483	25.8%
中国	1,547	16.1%	総合計	9,634	3.1%
韓国	1,511	15.7%	市総人口	312,029	
ベトナム	984	10.2%			
フィリピン	850	8.8%			
上位合計	7,151	74.2%			



〒510-8601 三重県四日市市諏訪町1-5 四日市市役所北館5F

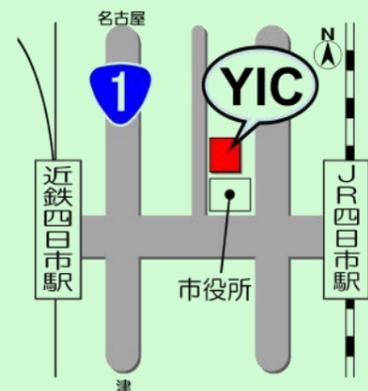
【TEL】059-353-9955 090-6572-9440

【FAX】059-355-5931

【E-mail】yic@yokkaichi-shinko.com

【URL】http://www.yokkaichi-shinko.com/yic/

【開館】9:00~17:00 (月曜日、祝祭日、年末年始は休館)



No.66/2019.4

発行
公益財団法人四日市市文化まちづくり財団
四日市国際交流センター
Yokkaichi International Center

平成30年度 YIC日本語サークル発表会

現在、約20カ国の外国人が、YIC日本語サークルにて日々熱心に日本語を学習しています。平成31年3月24日(日)、日頃の学習の成果を18人の学習者が様々な表現方法で発表しました。終了後、発表者と参加者が昼食をしながら交流を深めました。

【私のラッキーストーリー】



プッティータさん
(タイ)



楽しかった。「365日の紙飛行機」など日本の歌をグループで歌ってくれたのがよかった。気に入ったからスマホで調べました。これから日本の歌も聞いていきます。

【日本で経験したこと】



ボンリムさん
(カンボジア)



日本に来て日本語が分からず、仕事もわからず、しかられたりして国に帰りたいと思ったのは「みんな同じだったんだなあ」と、クルニアさんのスピーチを聞いて共感しました。

【日本語を学ぶ楽しさ】



殷 路菊さん
(中国)



滋賀県にいたころ、発表会に参加して日本語が全く分かりませんでした。2回目の時は、少し分かるようになりました。今日は自分で発表できました。自分の成長をほめてあげたい。

【私の目から見た日本人とベトナム人】



ゴックさん
(ベトナム)



発表は怖いくらい緊張しました。私の話は下手だったけれど、自信になりました。来年もう一回参加して、上達した私を見たい。

【グラットの興味深い観光スポット】



ウエンさん
(ベトナム)



人が多くてドキドキして緊張しました。しかし、発表会の準備をしたことにより、日本語の勉強に大変役立ちました。

【自分の夢じゃなかった】



ディキーさん
(インドネシア)



会社では仕事の話しかしないが、発表会や交流会を通して、それぞれの国の話や、いろいろな話ができるので楽しかった。また他のイベントにも参加したい。

【あれは台湾料理じゃない】



李 英智さん
(台湾)



普段は先生とだけの会話で、ほかの人の学習のことはわからなかった。今日よかったのは、色々な話を聞いたこと、特にクルニアさんの発表内容には感動しました。

【どんな心?】



クルニアさん
(インドネシア)



多くの人に嵐の「二宮」に似ていると言われて驚いた。発表会だけでなく、こんな会話ができるYICに来ることはとても楽しいです。

♪【365日の紙飛行機】♪



リンさん ギアさん ダンさん

発表が決まってから残業後の歩いて帰る夜道を3人で歩きながら「365日の紙飛行機」を大声で歌って帰りました。3人のキーを合わせるのが大変でした。



(ベトナム)

♪【はるがきた】【クエ フウン トイ】【あとひとつ】♪



アインさん・ティンさん・ナムさん・ホアンさん・ドックさん・ドンさん・ハオさん

人生の中で初めてたくさんの方の前で歌いました。緊張しましたが、会場の皆さんから応援してもらい、心から歌うことができました。



(ベトナム)



(講評) 渡邊伸人さん

短期間の勉強にも拘らず素晴らしい日本語スピーチに感動しました。相手に伝えよう、理解してもらおうという強い気持ちがあれば通じ合えることがわかりました。

YIC日本語サークル

四日市国際交流センターでは、日本語ボランティアと外国人学習者が日本語を勉強する「YIC日本語サークル」を毎日開催しています。学習者のニーズに合わせてマンツーマンで勉強しています。

私のボランティア活動



市川文子さん(写真[左から]の学習者さん:ランさん、ブノムさん、ダニエラさん)

日本語サークルのボランティアを始めたきっかけは「経験がなくても大丈夫」の言葉でした。いざ参加してみると、色々な国から来日した学習者の方たちが目を輝かせて一生懸命に日本語を学ぶ姿勢に思わず力が入ります。教えることは自分自身学ぶことと再認識させられる場でもあります。難しい文法や漢字に四苦八苦しながらも「漢字が好きになってきました！」と言ってもらえると、こんなに嬉しいことはありません！これからも一緒に勉強していきましょうね。

有村敏晴さん(写真の学習者さん:ウイエンさん、アグンさん、ラムさん、ミルザさん)

ボランティア活動も7年目を迎え、現在はベトナム人女性のUyenさんを担当しています。貴重な休日を日本語学習に勤む彼らの姿勢に励まされています。先日、3年前にベトナムへ帰国したLamさんより「N2合格」の朗報が届きました。帰国後も独力で日本語を学習し、挑戦し続ける姿勢には尊敬の念を禁じ得ません。異国での就業や生活はストレスが付きものですが、それらを少しでも緩和し、良き思い出となるように、日本文化に触れあい楽しく勉強できる場を作っていきたいと考えています。



写真(左)京都・円山公園(下)御在所



おもしろエピソード

やって良かった日本語

江藤久子さん



毎回、今日のネタは？と考えてボランティアしています。ある日、「物の数え方」についてベトナム人のオンさんと勉強していました。その中で「男一匹！」というフレーズがありました。当然、彼から「人間なのに何故ひとりで」と言わないと質問されました。時々こういった言語には悩まされます。独立した男の人が使う言葉と説明しましたが「解らない？」でした。「動物をイメージした方が強く感じるから」と怪しい補足説明(?)にて70%の納得でした。日本の数え方には、例えの言い方やパンのように「一斤」「1枚」「1切れ」と大きさによる言い方の違いがあります。多くの国では、どんな状態でも一つは一つかな？日本語の勉強によって改めて奥深さに気付かされています。「やって良かった日本語！！」と言われるよう努力したいです。

良く似た言葉

荒木健一さん



ある日、学習者さんから「先生、日本語はよく似た言葉が沢山あります」と言われました。どういことが聞いてみると「行って」「言って」「取って」「撮って」「持って」「待って」「勝手に」など頭がよく似た言葉が多いそうで、言われるまで気づかなかつたです。まさか立場が逆転して外国の人から日本語を教えてもらうとは思いませんでした。普段当たり前のように話している気づかなかつたです。僕がもう少し日本語能力を付けなくては行けないと感じました。

むしろれた頭

濱口ひろ子さん



筆者(左) ラオ夫妻(右)

インドのT.P.ラオさん夫妻を受け持ったのは、私がYICで活動を始めて2~3年ごろでした。当時夫妻には、多感な二人の子どもたちを育てながらの日本生活で心労もあったと思いますが、ラオさんはいつも授業を盛り上げてくれました。それは40代初めに彼の頭が急に薄くなり始め、何故か話題が彼の頭に、そして彼が突然「僕の頭は実はマンジェラ(奥様)に每晚、每晚むしろれてこうなっちゃった！」と、びっくりしたのは奥様、「何を言うの！」と彼女。私たち二人は、涙を流しながら抱腹絶倒。最近私の頭も薄くなり始め、実は主人が每晚私の頭をむしろっているから？です。

恋愛話は万国共通

十時悠詠さん



ベトナムから来た彼女に会ったのは、おおよそ1年4カ月前になります。まだ日本に来たばかりで、日本語でお話することを少し恥ずかしそうにしている感じが印象的でした。そんな彼女と仲良くなる為に授業の初めに少し恋愛のことを話すことにしました。「彼氏ができそう」「カッコ良い人がいた」と、非常に弾みました。やはり恋愛は万国共通ですね。ただ、この話題には1つ欠点があって、いつも「先生はいつ結婚するんだ！」と説教されるのです。そんな彼女達も今では私のことを親しみを込めて「お父さん」と呼んでくれています。これだけは言いたい。私はまだ「お兄さん」だ(笑)

学習者紹介

- ①なまえ
- ②国名
- ③日本に来ておどろいたこと
- ④日本語で好きな言葉



- ①アレック ②アメリカ
- ③道がきれいなこと。あまりクレジットカードを使わないこと
- ④「わびさび」(秋から冬にかけて感じる)、「ふわふわ」「ネパネパ」「ツルツル」といった擬態語



- ①ゲルガビ ②イラン
- ③みんながやさしくて親切なこと。文化はイランに似ている
- ④「おはようございます」(新しい一日が始まった気がするから)「ありがとう」(日本のどこでも聞けるから)



- ①スリヨ ②インドネシア
- ③コスプレの祭りでみんな面白い服を着ること・挨拶するときおじぎをすること
- ④「いらっしゃいませ」(いつも微笑んで言うから)「かしまりました」(はいという言葉を丁寧に言うってすごいこと)



- ①アグス ②インドネシア
- ③日本人が時間を守ること・どこでも電車で行ける道がきれい
- ④「少々お待ち下さい」(やさしい言葉だから)



- ①ブランドン
- ②カナダ
- ③日本の夏の暑さ
- ④「マジで」(言葉の響きが好きで、多くの日本人が使っていて、街中でよく聞くから)



- ①金 用鉉
- ②韓国
- ③食べ物の量が少ない・車が左側通行
- ④「出来る限り頑張ります」(結果を出すために、いつも努力して、努力する姿を見せることができるから)



- ①ノフィー
- ②インドネシア
- ③日本の店員や看護師(サービスがよいから)
- ④「がんばります」(嬉しい時・悲しい時・家族と遠く離れて寂しい時などに頑張ることができるから)



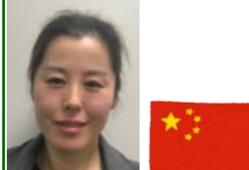
- ①メイプル
- ②ジンバブエ
- ③夏は蒸し暑く、冬はとても寒い・食べ物の種類が多い
- ④「お疲れ様」(相手を労わることが伝わるから)



- ①サイション ②タイ
- ③葉っぱが全部落ちた木があること(タイでは常緑樹しかないで、落葉樹を見て枯れた木だと思った)
- ④「お疲れ様」(いただきます)(タイには無い言葉だから)



- ①許 患栄 ②台湾
- ③日本のいろいろな場所(レストランや遊園地etc)などで順番を長い時間、静かに待つことができる。
- ④「幸せはいつも自分の心にある」(悩んでいた時に、友人からかけてもらった言葉です)



- ①娟佳
- ②中国
- ③ごみを分別すること(中国ではひとまとめ)
- ④「楽しい」(この言葉を聞いたり、見たりするのは気持ちがいい)



- ①デイェンドラ
- ②ネパール
- ③人がルールをちゃんと守る・町がきれい
- ④「おはようございます」(みんながいつも声かけているから)



- ①タマンナ
- ②バングラディッシュ
- ③「雪」初めて見たとき、ダイヤモンドみたいと思った
- ④「すみません」(この言葉には、「ねえちょっと」と「ごめんなさい」の二つの意味があって、相手の表情と状況でつかい分けられるから)



- ①エンジェル ②フィリピン
- ③雪をみたこととスキーができること・食べ物がフィリピンと全然違うこと(焼肉とラーメンがおいしい)
- ④「お疲れ様」(仕事でよく使うから)「ありがとうございます」(お店で言ってくれるから)



- ①スエリ ②ブラジル
- ③日本のお年寄りには良く勉強する
- ④「友達に会いたい」(今の私の気持ち)「仲良くしてあげてね」(子どもの頃祖母がよく言っていた)「気をつけてね」(とても優しい言葉だから)



- ①スアン ②ベトナム
- ③春と秋になると景色がめっちゃきれい。交通が便利。食べ物がおいしい(天ぷらが好き)
- ④「がんばってね」(自分を一生懸命やる気にさせてくれる)



- ①キエウ ②ベトナム
- ③初めて電車に乗ったこと(四日市から富田に行くのに特急ののってしまっ桑名まで行ってしまった)
- ④「おはようございます」(一日の始まりの楽しい挨拶で、楽しんで働くことができる)



- ①はやと
- ②ポルビア
- ③道にごみがないこと
- ④「ねこ」(ねこが好きだから)



- ①チョー ②マレーシア
- ③「ごみの分別と曜日指定」マレーシアではすべて一緒に。
- ④「お久しぶりです」(日本に戻った時、皆さんが言ってくれる言葉。とても暖かい。マレーシアでは「Hey」くらい)

平成30年度 イベント

平成30年度は19回のイベントを開催し、たくさんの方に参加していただきました。おもなイベントをピックアップしてご紹介します。新年度も、より多くの面白いイベントを計画しております。皆さんの継続的なご支援とご協力をお願いします。



【コーヒープレイク】ベトナム 2018年6月17日 参加者42名

当センターのベトナム語講座講師の清川紀子さんが、ベトナムの地理・観光名所・民族衣装、ベトナムの様々な食べ物・フルーツ・教育・結婚式など多岐にわたり解説していただきました。

(参加者からの感想)

- ベトナムの民族衣装がとてもきれいで、果物もとてもおいしそう、ベトナムに行ってみたくまりました。
- 昔の日本の生活を見る様なシーンがあり、ベトナムと日本の生活習慣のルーツが同じである様に感じました。
- ベトナムの北と南の違いをおもしろく拝聴いたしました。

浴衣で大四日市まつり

2018年8月5日 参加者29名

大四日市まつりの開催にあわせて、ボランティア4名のご協力を得て外国人参加者29名に浴衣を着付けていただきました。着付け中、ボランティアさんが「この色とても良く似合うね」「しぼりの柄がすてきね」と声をかけていただき、参加者の緊張を解きほぐしながら素敵な姿に変身していただきました。



持ち寄りパーティー

2018年10月14日 参加者36名

2年ぶりに持ち寄りパーティーを開催しました。8カ国36名が集い、ベトナムの麺料理フォーや春巻き、ネパールのカレーとナン、南米のフェイジョアータと呼ばれる豆料理などの手作り料理が並びました。食後はチームに分かれてのゲームも実施し、終日交流を深めていただきました。



日本料理教室

2018年11月14日 参加者8名

日本語サークルボランティアで料理人の藤谷征靖さんを講師にお迎えして、寒い時期に美味しい日本料理の「筑前煮」「茶碗蒸し」「おしるこ」を作りました。参加者8名が二つのグループに分かれて、先生の指導のもと調理しました。食事をしながら先生から料理名の由来や料理を美味しくするコツなども教えていただきました。



マリンバプラス トーク&ライブ

2018年12月2日 参加者129名

平成30年度のトーク&ライブは、ドイツを中心に音楽活動をしてきたトラヤノフ ヴェスコさん・鎌田かおりご夫妻をお迎えしてマリンバ一台を二人で演奏していただきました。日本民謡の「八木節」からブラームス「ハンガリー舞曲」、美空ひばりの「お祭りマンボ」「川の流れのように」や「リベルタンゴ」など幅広いジャンルの演奏とヨーロッパでの音楽活動の様をお話しいただきました。

(参加者からの感想)

- マリンバの演奏を聴く機会があまりないので、プロの演奏家による生演奏が聴けてとても良かったです。
- マリンバの素敵な音色に癒されました。お二人で同じ方向を向いて頑張っている姿、とても素敵でした。
- 素晴らしい内容で感心しました。今後も継続してください。



【コーヒープレイク】ボリビア

2019年1月27日 参加者37名



当センターの日本語サークルで日本語を学習しているオオタ ダニエラさんが、ボリビアの歴史・地理・ウユニ塩湖やチチカカ湖などの観光名所・食べ物などについて350枚の画像を見せながら解説していただきました。また、ダニエラさんの手料理「エンバナータ」を作ってきていただき、参加者のみなさんにふるまっていただきました。

(参加者からの感想)

- 圧倒的写真のすばらしさとトークの楽しさであっという間に時間がすぎました。
- ボリビアの多くの自然をスライドで紹介され、大変興味深く一度訪ねてみたいになりました。世界は広く知らない世界や不思議な所があると改めて思いました。

平成30年度 外国語講座



平成30年度の外国語講座は、3期にわけて、英語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・中国語・ベトナム語・タイ語の講座を行い、450名が受講しました。新年度も、引き続き3期に分けて市内に住む外国人市民の母語を学習する機会づくりに努めます。



『ポルトガル語講座』 担当：宮西マリア先生

平成30年度からポルトガル語講座を担当させて頂きました。日本(四日市)に26年住んでいますが、「ポルトガル語をちゃんと教えることができるかな?」と、不安でいっぱいでした。受講者の皆さんの熱心さやポルトガル語が好きだから覚えたいという気持ちが、私の励みになりました。一年間、受講された皆さんは、楽しく積極的に取り組んでいただきました。興味のある方は、ぜひ私の楽しいポルトガル語講座に参加してください。 Estamos esperando !

YICのラウンジ壁面を利用して、プチ展示会を行いました。「クロスステッチ」「樹脂粘土」「アンデルセン手芸」「竹あかり」「絵手紙」などの作品を月替わりで展示しました。なお、展示出展者の募集を随時受付しています。どうぞ、お気軽にお問合せください。



クロスステッチ



樹脂粘土



アンデルセン手芸



竹あかり



絵手紙



ラウンジ展示

2018交換学生・教師(トリオ)ロングビーチ市へ

四日市国際交流センターでは、四日市市からの委託を受け、姉妹都市米国ロングビーチ市との交流事業を行っています。平成30年度は、四日市市から高校生2名(学年は、派遣当時)と教師1名(通称「トリオ」)をロングビーチ市に7月下旬から約3週間派遣しました。



林 尚登

海星中高等学校教諭

ロングビーチは心の糧

LBステイから、もう半年が過ぎ、いつのまにか私が体験した様々な行事や交流を客観的かつ冷静に見ることが出来るようになってきました。ジェットコースターのような日程は充実感に溢れており、目に触れるものすべてが新鮮でした。日々のカルチャーショックも心地よく、今ではあの夏の日々が私にとって特別の色彩すら帯び始めています。また現地の方々の献身的な姿勢と真心は思い出すたび、頭が下がる思いです。ボランティアとはこういうことなのかと骨身に染みしました。



お世話になったホストファミリーの皆さん

私たちトリオも全力を尽くし、友情と信頼関係を築くことに寄与できたものと自負しております。特に高校生の2人は短期間で、明らかに学校現場では表れない成長が見られました。青春期の出会いや言語を超えた絆は、これからの人生にどれだけの糧になるかを改めて実感させられました。相互理解を通し、人間形成する。異文化理解から国際交流のつながりを深める。この事業は間違いなくそれらの目的を達する一助になります。

やがては、思い出が昇華され、結晶化し、あの3週間が永遠の存在となるように心がけます。すでに心の奥底では、LBで訪れた場所のすべてが「立ち寄りて心が弾む いつまでも」の句のようになっています。



戸井ひまわり

鈴鹿高等学校2年

ひまわりのロングビーチ留学記

この交流事業を通して、私はロングビーチに行く前と行った後で、自分の考え方や興味を持つもの、周りへの見方が大きく変わったことが沢山あります。

一つ目は、多くの物に何にでも興味を持てるようになり、体験してみたいと思えるようになりました。この経験をする前は、新しいものに挑戦することは好きではなく「周りの人と同じでいい、目立たなくて良い」と思っており、人前に出て話をするのも苦手でした。しかし今は、自分の意見を持つことは凄く大切であると気づき、友達の考えや思っていることを話し合っ深めることができるようになりました。また、色んな世界の国々を訪れ、その国の伝統的な文化についても触れてみたいと思います。

二つ目は、ロングビーチのホストファミリーや友達と今も連絡を取り合っていて、今年6月にはホストファミリーが日本に観光に来る予定で、凄く楽しみにしています。そして、私の家族や鈴鹿高校の英語部のみんなと観光に行く予定をしていますので、しっかり英語で説明出来るように頑張りたいと思います。私がロングビーチに行った時に、皆さんからしていただいた素晴らしいおもてなしが出来たら良いなと思っています。

そんな大好きなホストファミリーの皆さんとこれから何十年も素敵な関係を続けられることを願っています。



ホストファミリーとの映画鑑賞



後藤大賀

海星高等学校3年

向上心を忘れずに

私にとってこのロングビーチ研修の中で1番印象に残っているのは「トル東京というロサンゼルスにある日本街です。まるで日本のどこかを切り取って運んできたと言えるような完璧な日本の町並みそのものでした。スーパーに売られているものも、本も日本のものと全く同じでしたし、オマケにプリクラ機までありました。異文化理解と国際交流の発展が垣間見え、大変驚かされました。

この研修を通して新しい世界が見えた気がします。私はニュージーランド留学を経て英語力を培ったので、現地では発音や表現の違い、中にはそもそも、単語の異なりによって、同じ英語であるにも関わらず話が食い違ふことがありました。英語に方言や訛りがあるのは知っていましたが正直、これ程までとは思っていませんでした。留学したおかげで人より少し英語が話せるようになり、天狗になっていた私にとってこれはとても衝撃的で、もう一度勉強しようという気持ちにさせられました。現地でたくさんさんのスラング(若者言葉)やことわざを教えてくださいと日本人の持つ感覚とどこか似ているような気もしました。例を挙げると、日本語の「アツイ展開」の「アツイ」にあたる部分は英語でも「fire(火)」で表現します。これを聞いた時に鳥肌が立ったのを覚えています。これからもこの向上心を忘れず自分を高めていけたらと思います。



カリフォルニア州立大学の授業に参加



ロングビーチ市・ガルシア市長を表敬訪問



あたたかいおもてなしを受けたビーチパーティ



四日市・ロングビーチ 姉妹都市提携55周年

～海を越えて育む絆～



四日市市は、1963年10月にロングビーチ市と姉妹都市提携を結び、以来、トリオ事業をはじめ医療・環境・文化やスポーツなど幅広い分野で交流をしてきました。2018年8月10日、姉妹都市提携55周年を記念して、ロングビーチ市で記念式典が開催されました。森市長・ガルシア市長、プサワット姉妹都市協会会長(写真右から順に)をはじめ関係者が出席し、両市の親睦を深め、今後も海を越えて絆を育むことを約束しました。



今後の交流に向けた覚書の締結